

4 年「名人をこす」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの 4 観点は、次のようになっていますが、ABCD によって書く観点の数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	努力するとは どういうことか考えよう	好きになるとは どういうことか考えよう	
導 入	将棋の藤井聡太さんを知っていますか。将棋のタイトルをたくさん持っている人です。藤井さんが、どのように将棋が強くなっていったのか見てみましょう		
展 開 前 段	○小学生になった藤井さんは、どんな思いで将棋していたのでしょうか ○上の段に上がるテストで負けが続いていたとき、藤井さんは、どんなことを思っていたでしょう ○名人に勝つ夢が叶ったとき、藤井さんは、どんなことを思ったでしょう		
つ な ぎ 発 問	○将棋で負けたときに泣いていた藤井さんが、負けても泣かなくなったのは、どうしてでしょう ○藤井さんは、どんな努力をし	○藤井さんは、小学生のころ、将棋のどんなところが好きだったのでしょうか ○藤井さんは、今は、将棋のどんなところが好きなのでしょう	

①	たのでしょう ○名人になった今でも、藤井さんは努力を続けています。どうして努力をやめないのでしょうか	○あなたは、やることが好きなことや、夢中になっていることは、どんなことですか	
展開後段	「努力する」「がんばる」ということは、どういうことでしょうか	一つのことを好きになるとは、どういうことでしょうか	
つなぎ発問②	努力していても、全然、しんどくない。がんばることが楽しい。皆さんにも、ぜひ、そういうものを見つけてほしいと願っています。見つかったら、先生に教えてくださいね。応援します	ちょっと、忘れ物をしたり、夏休みの宿題を後回しにしたりすることは、どうかと思いますが、そのくらい、好きなこと、夢中になれることをもってみてください。危なくなったら、先生が、ちょっとちょっとと声をかけますね	
	- 今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ①のことをもとに、これから、どんな自分になるとステキだなと思いますか では、振り返りを書きましょう		
振り返り			